

大会レポート

モルテンカップ

第36回千葉県小学生バレーボール新人大会

決勝大会のレポートです！！

2月に入って記録的な大雪となり、2月8日予定されていた抽選会が11日に延期され、さらに11日は朝からの降雪により役員による抽選会となりました。翌週末の15日も大雪となったため、この大雪で交通網が寸断されたことから予定されていた女子の大会第1日目が翌週の22日に延期することになりました。この間、試合運営について競技委員会では四苦八苦し、決勝大会の前日である22日が偶然にも佐原クラブが香取市民体育館を



確保されていたことから、急遽佐原クラブのご厚意で22日を大会第1日目とし、翌23日を当初の予定通り決勝トーナメントとすることにして、各チームへの広報はホームページを使って行いました。15日が22日に変更となったことから県大会第1日目に臨むはずであった3チームが棄権となり、29チームが参加して大会第1日目が行われました。

2月22日（土）の女子1日目勝ち上がったシードのみつわ台、鎌ヶ谷中部など8チームが、23日（日）の決勝トーナメント進み、男子は16日（日）の二次予選を勝ち抜いた丸山、高根など8チームが集まって、3コートを使ってそれぞれ平成26年度の全国大会のシードを目指して熱戦を展開してくれました。

関東大会からのシードみつわ台はチームが若く、初戦で大津ヶ丘に敗れ、同じくシードの薬円台南は大会1日目で敗戦となってしまいました。大穴、坪井の船橋決戦は大穴が接戦を制し、大津ヶ丘と準決勝を競いました。この試合も3セットに渡る熱戦で、大穴が決勝にコマを進めました。もう一方の対戦は、鎌ヶ谷中部が初めてベスト8に進出したわかしおをやや大差で下し、塚田も粘る君津ジュニア突き放して準決勝に進みました。準決勝の鎌ヶ谷中部、塚田戦は第3セット目がジュースに持ち込まれ、どちらにも勝ち上がるチャンスはありましたが、鎌ヶ谷中部に軍配が上がりました。続く決



勝はいずれも初優勝を目指して、火ぶたが切られ、一進一退の接戦が続いて1セット目はジュースまで持ち込まれ、2セット目も21対19と本当に熱戦の中、大穴がエースの強打、軟攻を使い分ける頑張りによって初優勝を勝ち取りました。各チームのチーム力が接近していたため、ここ数年にない接戦のゲームが続きました。全国大会の千葉県予選もどこが代表権を取るのか本当に混沌とした状態で。夏に向け、各チームのチーム力アップが今から本当に楽しみです。



一方男子については、昨年に引き続きシードの貫録を見せ、丸山が初戦は飯山南を退け、印旛に粘られましたが、決勝に勝ち上がりました。もう一方は、やはり昨年と同様に四街道が、ミライズを接戦で破って勝ち上がった高根と対戦し、まだチーム力が若い高根に對



しこれを打ち破って決勝に進みました。四街道は主力の一人がけがを押しての出場であったのですが、丸山が危なげなくこの



試合をものにして2年連続の優勝を飾りました。各チームともまだまだチーム力のアップが期待されますので、夏の全国大会本番までには好試合が連続することを期待いたします。

今大会は地元の佐原クラブの指導者、チーム関係者の皆様には本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。大会に参加された選手の皆様、本当に熱戦をありがとうございました。また、地元の北総支部役員をはじめ大会役員の皆様大変お疲れ様でした。

最後に特別協賛をしていただきました株式会社モルテン様に感謝の意を表します。

